



名前 ()

大和朝廷と聖徳太子、大化の改新



◆大和朝廷 古墳時代に起きたクニどうしの戦いのなかから強大なクニが生まれました。今の奈良・河内周辺を中心とする大和国です。大和国の政府を大和朝廷と呼び、4世紀から5世紀にかけて、各地の王を従えていきました。大和朝廷の王は、王の中の王ですから、大王と呼ばれ、後に天皇となっていきます。しかし、このころの大和朝廷はまだ安定していませんでした。

◆聖徳太子 大和朝廷を安定させようとしたのが聖徳太子です。聖徳太子は、天皇の力を強めて大和朝廷を安定させようと考え、当時有力だった蘇我氏と協力して、いろいろな改革を行いました。

まず、役人の心得である十七箇の憲法をつくりました。次に、才能のある豪族が重要な役職につけるように、冠で位を表す冠位十二階の制度を定めました。そして、みんなが仲良くするという考え方である仏教を盛んにしようと、奈良に法隆寺を建てました。また聖徳太子は、隋(中国)に小野妹子らを遣隋使として送りました。日本が統一された国であり、その国の王が天皇であることを国内外に示すためです。隋の政治のしくみや文化を取り入れることも目的でした。

◆大化の改新 聖徳太子の死後、蘇我氏が大きな力を持ち始めました。そこで、再び天皇を中心とした強い国にするために、中大兄皇子(のちの天智天皇)と中臣鎌足(のちの藤原鎌足)が、645年に蘇我氏をほろぼしました。そして大化の改新と呼ばれる政治の改革を始めたのです。

まず、すべての土地と人々を天皇のものとしてしました。これを公地公民といいます。そして、一定の年になると農民は田を与えられ、朝廷に税を納める制度をつくりました。これを班田収授法といいます。この時代の税は農民にとって厳しいものでした。毎年取れた米の一部を朝廷に納めるだけでなく、中国などからの攻撃にそなえて九州の守りにつく防人にならなければなりませんでした。

この時代、都が飛鳥地方にあったことから、飛鳥時代といえます。

- ① 古墳時代に起きたクニどうしの戦いのなかで生き残った強大なクニを何といいますか。また、そのクニは日本のどのあたりにありましたか。
クニの名前() 場所()
- ② 大和朝廷を安定させるために、様々な改革を行った人物はだれですか。
()
- ③ ②の人物が天皇中心の政治を行うためにつくった、役人が守るべき心得を何といいますか。
()
- ④ ②の人物が、才能のある人を重要な役職につけようとした制度を何といいますか。
()
- ⑤ ②の人物が世の中の安定のために広めようとした宗教と、そのためにつくった寺を何といいますか。
宗教() 寺の名前()
- ⑥ ②の人物が、中国に送った使者を何といいますか。また、使者となった人物の名前を書きなさい。
使者() 人物()
- ⑦ ②の人物の死後、力をつけた豪族は何氏ですか。
()
- ⑧ ⑦の豪族をほろぼした2人の名前とほろぼした年、その後2人が行った改革の名前をいみなさい。
人物() 人物()
年() 改革の名前()
- ⑨ ⑧の改革のひとつで、土地と人々を天皇のものとしたのですが、これを何といいますか。
()
- ⑩ ⑧の改革のひとつで、一定の年齢になると田が与えられ、税を納めなければならない法を何といいますか。
()
- ⑪ 農民は九州の守りにつかなければなりませんでした。この九州の守りについた人を何といいますか。
()

奈良時代



名前 ()

奈良時代



◆大仏づくり 710年、天皇は都を今の奈良に移しました。唐(中国)の都である長安をまねてつくられたこの都を平城京といいます。ところが、全国の富が朝廷に集中する一方で、仏教がはやり、貴族が反乱を起こしたりして、また世の中が不安定になってきました。そこで、聖武天皇は、仏の力をかりて世の中を安定させたいと考え、都に大仏を、地方には国分寺と国分尼寺をつくることにしました。大仏づくりは計画から9年もかかりました。また、のべ260万人にものぼる、たいへんな労力がかかりました。

この大事業を支えたのが、僧の行基です。行基は渡来人の子孫で、日本の各地を回りながら、橋や道路、ため池などをつくり、地方の農民を助けていました。そのため、農民から信頼されていたのです。聖武天皇は行基をきらっていましたが、大仏づくりに協力させることを思いつき、高い位の僧に取り立てて、大仏づくりを進めました。大仏は、752年によく完成しました。この大仏を納めた寺が東大寺です。

◆奈良時代の文化 この時代は国際的な交流の多い時代でした。東大寺には、聖武天皇が大切にしていた宝物が納められた正倉院という倉があります。遣隋使が持ち帰った宝物や、この時代の唐(中国)に送られた遣唐使が持ち帰った宝物などが納められています。当時大陸では、ヨーロッパから中国までシルクロードという道が開かれ、東西の交流が進んでいたため、外国の文化の影響を受けた宝物がいくつもあります。また、日本に新しい仏教を伝えるため、5回も渡航に失敗し、目が見えなくなったにもかかわらず、日本によくやくやってきた鑑真という僧もいました。この鑑真が建てた寺が唐招提寺です。

この時代には、日本に現存する最古の書物が書かれています。『古事記』や『日本書紀』は、それまでの日本の歴史について書かれたものです。『万葉集』は庶民から天皇までが詠んだ和歌を集めた歌集です。また、地方の特産物など地方の様子について書かれた『風土記』もこの時代のものです。

- ① 奈良に都が移されたのは何年で、その都は何といいますか。
年() 都()
- ② ①の都は何という国の何という都をモデルにしてつくられましたか。
国() 都()
- ③ 都に大きな大仏をつくらせた天皇の名前と、その大仏が納められた寺の名前を何といいますか。
天皇() 寺()
- ④ ③の大仏の完成は何年ですか。また寺の完成に協力した僧はだれですか。
年() 僧()
- ⑤ ③の寺と同時に地方につくらせた2種類の寺の名前を何といいますか。
() ()
- ⑥ ③の寺にあった天皇の宝物を納めてある倉を何といいますか。
()
- ⑦ この時代に中国に送られていた使者を何といいますか。
()
- ⑧ この時代に、中国からヨーロッパにつながっていた、物や文化の往来に影響をあたえた道を何といいますか。
()
- ⑨ 新しい仏教を伝えるために、中国から苦勞してやってきた僧の名前と、その僧が日本に建てた寺の名前を何といいますか。
僧() 寺()
- ⑩ この時代に書かれた2つの歴史書は何と何ですか。
() ()
- ⑪ この時代のいろいろな人々がつくった和歌が寄せられている歌集を何といいますか。
()
- ⑫ この時代の地方の様子をまとめた本を何といいますか。
()



◆藤原氏 奈良の都では、貴族や僧の間で権力争いが激しくなり、政治が混乱して... 794年、京都に都を移しました。この都を平安京と呼び、この時代を平安時代といいます。

この時代、力を持っていたのは貴族でした。なかでも藤原鎌足の子孫である藤原氏は、強大な力を持っていました。藤原氏は、天皇と親せき関係を強め、藤原氏と関係の深い人を天皇としました。藤原氏自身は、天皇が幼いときは、天皇の代理を務める摂政として、そして天皇が成長すると、同じく天皇の代理である関白となって、思いのままの政治を行いました。これを摂関政治といいます。

このころ、地方では有力な農民などが自分の土地を増やしていました。農民が独自につくった田は、しばらくの間は農民が自分のものにしてよいという723年にできた三世一身の法や、ずっと自分の土地にしてもよいとする743年にできた墾田永年私財法に従ったためです。この土地を荘園といいます。荘園を持つ農民は、名前だけ藤原氏に土地を寄進し、土地を守りました。この寄進によって、藤原氏は大きな富を得ていたのです。特に藤原道長の時代は、その力が最大となり、「この世をば わが世とぞ思う 望月の かけたることも なしと思えば (この世はわたしのものであり、満月のように何もかけたものはない)」という歌をつくるほどになりました。

◆平安時代の文化 この時代、貴族は寝殿造という大きな屋敷に住み、和歌や舞楽などの遊びを楽しんでいました。中国が乱れたこともあり、894年に菅原道真の意見で遣唐使が廃止された結果、日本独自の文化が発展していきました。絵の世界では、あざやかな色を使った大和絵の巻物に、貴族の生活や、十二単という着物を着た女性などがえがかれました。

また、女性を中心にして、漢字をもとにひらがなやカタカナがつくれ、文学が発達しました。紫式部の『源氏物語』、清少納言の『枕草子』をはじめ、『竹取物語』などの物語、『土佐日記』『更級日記』などの日記物などがその例です。『古今和歌集』をはじめ、多くの歌集もつくられました。

藤原道長の子どもの藤原頼通によってつくられた平等院鳳凰堂など、美しい建物ができたのもこの時代です。



- ① 京都に都が移ったのは何年で、移した天皇はだれですか。
② この時代に力を持っていたのはどのような人たちですか。なかでも特に力を持っていた一族はだれですか。
③ 天皇が幼いとき、天皇に代わって政治を行う役職を何といいますか。
④ 天皇が成人してからも、天皇に代わって政治を行う役職を何といいますか。
⑤ ③や④の職について実権をにぎる政治を何といいますか。
⑥ 「この世をば わが世とぞ思う 望月の かけたることも なしと思えば」と歌ったのはだれですか。
⑦ 農民が新たに田をつくると、しばらくの間、自分の土地にしてもよいという制度を何といいますか。またそれは何年に定められましたか。
⑧ 農民が新たに田をつくると、それをずっと自分の土地にしてもよいという制度を何といいますか。またそれは何年に定められましたか。
⑨ ⑦や⑧の制度によって、有力な農民が増やしていった土地を何といいますか。
⑩ 貴族の住んだ屋敷を何といいますか。
⑪ この時代の貴族の女性の着物を何といいますか。
⑫ 次の物語の作者をいいなさい。
『源氏物語』() 『枕草子』()
⑬ 藤原頼通が建てた美しい建物を何といいますか。()

武士の登場と鎌倉幕府



◆武士の登場 平安時代、藤原氏に荘園を寄進した者たちは次第に地方で力をつけてきました。935年には、関東で平将門が朝廷に対して反乱を起こすまでになりました。このような武士のなかで急速に力をつけたのが源氏と平氏です。朝廷内部の争いだった保元の乱と平治の乱では、源氏と平氏が活やくし、貴族の力は弱まり、武士の力はますます強まりました。この2つの乱で勝ち残った平清盛は、太政大臣という高い位につき、平氏中心の政治をしました。その結果、多くの人々からきらわれ、立ち直った源頼朝と源義経らの源氏に、壇ノ浦でほろぼされました。

◆鎌倉幕府 源頼朝は1192年、朝廷から征夷大将軍に任ぜられると、鎌倉に幕府を開きました。しかし、源氏の将軍は3代しか続きませんでした。その後は、頼朝の妻である北条政子の北条氏が、将軍の代わりをする執権という役職につき、鎌倉幕府の政治を行っていきました。幕府のもとにいる武士は御家人と呼ばれました。御家人たちは幕府に領地を守ってもらいました。これをご恩といい、いざというときは幕府のために命をかけて戦いました。これを奉公といいます。1232年には、御家人の守るべき法律である御成敗式目が完成しました。1221年、朝廷が幕府から政権をうばおうと、承久の乱を起こしましたが、幕府軍が朝廷の軍をやぶりました。

◆元寇 しばらくの後、モンゴルから出た元という国が日本に家来になるように求めてきました。しかし、当時の執権、北条時宗はこれをはねつけました。怒った元は、1274年の文永の役と1281年の弘安の役の2度にわたって九州にせめてきました。この事件を元寇と呼びます。運よく2度も台風がやってきて、元軍は引き返してしまいました。しかし、幕府も戦いで多くの費用を使ったため、御家人にほうびをわたせず、御家人の幕府に対する信頼は急速に失われていったのです。

◆鎌倉時代の文化 この時代は、武士が強くなったため、運慶や快慶らがつくった東大寺南大門の金剛力士像のような力強いものが好まれました。また、仏教では法然の浄土宗、親鸞の浄土真宗、日蓮の日蓮宗、栄西の臨済宗、道元の曹洞宗、一暹の時宗など、新しい仏教が生まれました。文学でも、吉田兼好が『徒然草』を、また鴨長明が『方丈記』を書いています。



- ① 935年、関東で反乱を起こした武士の名前をいいなさい。()
② 保元と平治の乱で勝ち、太政大臣という高い位についた武士はだれですか。()
③ ②の武士をたおし、幕府を開いたのはだれですか。また、幕府は何年にどこの土地で開かれました。()
④ 幕府が御家人の領地を守ることを何といいますか。また幕府のために御家人が戦うことを何といいますか。()
⑤ この時代、御家人の守るべき決まりを定めた法律を何といいますか。()
⑥ ③の一族がたおれたあと、幕府の実権をにぎった一族は何氏ですか。またその一族がついた役職を何といいますか。()
⑦ 鎌倉時代の終わりごろ、大陸から大軍が2度もせめてきた事件を何といいますか。また、そのとき幕府の執権として反撃したのはだれですか。()
⑧ 大陸からせめられた2度の戦争が起きた年と、2度の戦争の名前をいいなさい。()
⑨ 東大寺の南大門にある像の名前と作者名を2人書きなさい。()
⑩ 次の人が始めた仏教を書きなさい。
法然 () 親鸞 () 日蓮 ()
栄西 () 道元 () 一暹 ()
⑪ 吉田兼好が書いた本と鴨長明が書いた本は何ですか。
吉田兼好 () 鴨長明 ()



◆鎌倉幕府の滅亡と南北朝時代 鎌倉幕府への不満が高まっていることを知った朝廷の後醍醐天皇は、不満を持つ武士を集め、鎌倉幕府をほろぼすことを考えました。そして、足利尊氏を中心に新田義興、楠木政成などの武士によって、1333年、鎌倉幕府はほろぼされました。

1334年、後醍醐天皇は、かつてのように、朝廷で天皇中心の政治をしようとした。これを建武の新政といいます。しかし、新政は武士たちを軽く見たので足利尊氏らは不満で、やがて後醍醐天皇や楠木氏などと対立するようになりました。

足利尊氏は自分に反対する武士をたおし、ついには後醍醐天皇を都から追放してしまいました。そして別の天皇を立てて、1338年に征夷大将軍に任ぜられると、京都の室町に幕府を開きました。これを北朝といいます。しかし、後醍醐天皇も吉野(奈良県)で足利尊氏に対抗して南朝をつくったため、天皇が2人いることになってしまいました。この時代を南北朝時代といいます。

◆室町幕府と戦国大名 尊氏は、全国の武士をまとめ、室町幕府の力を強めていきました。3代将軍の足利義満は、明(中国)との貿易で富をたくわえて幕府の力をさらに強め、とうとう南朝の天皇の位をうばいとってしまいました。その後、幕府の力を見せつけるため、建物をすべて金でおおった別荘、金閣を京都の北山につくったのです。この時代の文化を北山文化といい、世阿弥が完成させた能や狂言という演劇などが流行しました。

しかし、幕府の力も長続きしませんでした。1467年、次の将軍をだれにするかという意見のちがいがから、山名氏と細川氏が京都で争いを始め、11年間も続く応仁の乱が始まりました。ところが8代将軍の足利義政は、この内乱を止めることができずして。それを知った大名たちは、自分の領地を広げようと、勝手に全国で次々と内乱を始めました。この応仁の乱から始まった戦乱の時代を戦国時代といいます。そして、この時代の混乱の中から力をつけた大名を戦国大名といいます。

足利義政は義満をまねて京都の東山に銀閣を建てましたが、力がなく、建物を金でおおおうことはできませんでした。銀閣の書院造という建て方や雪舟が完成させた水墨画などは、東山文化と呼ばれ、現代にも多く引きつがれています。

戦国時代と天下統一



◆織田信長 戦国時代は、実力のある者が身分の上の者にうち勝つ下剋上の時代でした。武将たちは自分の領地を広げるために戦いを行いました。なかでも越後(新潟県)の上杉謙信と甲斐(山梨県)の武田信玄の戦いは有名で、川中島(長野県)で5回戦いましたが、決着がつきませんでした。

戦国大名は、だれもが全国を統一することを夢見ました。まず最初に、天下統一に向かって動いたのが駿河(静岡県)の今川義元でした。義元は京都を目指して進軍を始めました。しかし、当時まだ小さな大名だった織田信長が、桶狭間というところで今川氏をたおし、信長の名は全国に知られるようになりました。

1573年に信長は室町幕府をほろぼしました。領土を広げていた強い武将の1人である武田信玄は、信長との決戦の直前に病気で死んでしまいました。信長は鉄砲をたくさん使い、越前(福井県)の朝倉義景、近江(滋賀県)の浅井長政、甲斐の武田勝頼、比叡山経暦寺などの宗教勢力らを次々とたおしていきました。しかし、天下統一への途中で、信長は家来だった明智光秀にたおされました。これを本能寺の変といいます。またこの時期、フランシスコ・ザビエルによって、キリスト教が日本に伝えられました。

◆豊臣秀吉の天下統一 ところが、明智光秀もすぐに織田信長の家来である豊臣秀吉にたおされてしまいました。秀吉は、信長のあとをつぎ、短期間に城を築いて敵の意欲をなくしたり、城のまわりをかためて食料や水がなくなるのを待つ兵糧攻めという戦法を使い、次々と勝利をおさめ、勢力を広げていきました。

同時に秀吉は、年貢の取り立てを確実にするために、全国の田を統一されたものさしやますを使って調べ、年貢を取り立てやすくしたことを何と申しますか。

秀吉は晩年、国内の統一だけではあきらまらず、2度にわたって朝鮮をせめました。ところがこれには失敗し、豊臣氏の信頼は失われ、失意のうちに亡くなりました。この時代を、安土桃山時代と呼びます。



- ① 鎌倉幕府をたおすのに中心になった武士と天皇はだれですか。
② 鎌倉幕府がたおれたあと、天皇の力が復活したのは何年で、その政治を何と申しますか。
③ ①の武将が幕府を開いたのは何年で、どこの土地に開きましたか。
④ ①の武将と天皇が対立したことで、天皇が2人いた時代を何と申しますか。
⑤ 室町幕府の3代目の将軍の名前と、その将軍が行った貿易の相手国を答えなさい。
⑥ ⑤の将軍が建てた寺と、そこから広がった文化を何文化と申しますか。
⑦ 京都で11年間続いた内乱の名前と起きた年をいいなさい。
⑧ ⑦の内乱によって始まった戦乱の時代を何と申し、その戦乱のなかから力を持った大名を何と申しますか。
⑨ ⑦の内乱のときの将軍の名前と、その将軍が建てた寺の名前、その寺に取り入れられた建築様式の名前を答えなさい。
⑩ ⑨の寺が建てられた時期の文化を何文化と申しますか。
⑪ 武士たちが好んだ2種類の劇の名前は何かですか。
⑫ 水墨画を完成させた画家はだれですか。



- ① 実力のある者が、上の身分の者にうち勝って、力をつけていくことを何と申しますか。
② 川中島で5回戦った武将は、だれとだれですか。
③ 桶狭間で織田信長にやぶれたのは何という武将ですか。
④ ③のほか、織田信長によってほろぼされた武将の名前を3人いいなさい。
⑤ 織田信長が、家来だった明智光秀にたおされた事件を何と申しますか。
⑥ 織田信長のあとをついで、天下統一を成しとげたのはだれですか。
⑦ ⑥の武将が全国の田を統一されたものさしやますを使って調べ、年貢を取り立てやすくしたことを何と申しますか。
⑧ 農民や寺が反乱を起こさないように、⑥の武将が農民や寺から武器を取り上げたことを何と申しますか。
⑨ 関白や太政大臣の役職について⑥の武将は何と呼ばれていましたか。
⑩ ⑥の武将が2度せめたが失敗した外国はどこですか。
⑪ 織田信長らの活やくした時代を何時代と申しますか。

関ヶ原の戦いと江戸幕府



◆**関ヶ原の戦い** 豊臣秀吉が亡くなったあとに動いたのが徳川家康です。家康は、豊臣氏を守ろうとしていた石田三成を中心とした軍を1600年に関ヶ原（岐阜県）の戦いで打ちやぶり、1603年に江戸（東京都）に幕府を開きました。そして、大坂夏の陣で豊臣氏を完全にほろぼし、江戸幕府の力はさらに強くなりました。

◆**江戸幕府** 家康は、今までの幕府の失敗をくりかえさないために、幕府の領地である天領を400万石と大きくしました。将軍を永戸、紀州、尾張の御三家からも出せるようにし、徳川の親せきである親藩や、関ヶ原の戦いの前から徳川の家来だった譜代の大名を江戸や御三家の近くに置きました。一方、幕府は関ヶ原の戦いの後に徳川の家来となった外様大名を江戸から遠いところに置くなど、幕府がほかの大名からおびやかされないようにしました。

江戸幕府の力をしっかりと安定させたのは、3代将軍の徳川家光です。家光は、武士の守るきまりである武家諸法度に、大名を1年おきに江戸に住まわせる参勤交代の制度をもちこむなど、全国の大名に強い力を持たせないようにしました。同時に、幕府は人々に対して身分制を強制し、特に農民に対しては厳しい年貢の取り立てを行いました。

また幕府は、キリスト教を信じる人々の一揆をおそれ、キリスト教を禁止しました。九州の天草地方（熊本県）では、これを不満としたキリスト教の信者や農民が1637年、天草四郎を中心に一揆を起こしましたが、幕府によってしずめられました。これを島原の乱といいます。島原の乱は幕府に対する最後の反乱となりました。以後、江戸幕府による安定した政治が約230年続くことになるのです。

◆**鎖国** 島原の乱を重く見た幕府は、キリスト教が日本に入らないようにするため、日本人が海外へ出かけることや外国人が日本に来ることの両方を禁止しました。貿易の相手をおランダ、中国に限り、貿易の利益を幕府で独占しました。貿易は長崎だけで行い、特にオランダとの貿易を行った場所を出島といいます。ヨーロッパの国々のなかでオランダだけと貿易をした理由は、オランダだけがキリスト教を広めるより商業を重視していたからです。これを鎖国といい、江戸時代の終わりごろまで続きました。

名前 ()

関ヶ原の戦いと江戸幕府



- ① 豊臣秀吉が亡くなったあと、力を持った大名はだれですか。 ()
- ② ①の武将が決定的に強くなるきっかけとなった戦いの名前をいいます。またその戦いは何年に起きましたか。 ()
- ③ ①の武将は何年に、どこ土地に幕府を開きましたか。 ()
- ④ ①の武将の親せきの大名、古くから家来であった大名、新しく家来になった大名をそれぞれ何といいますか。 () (古くからの家来) (新しい家来)
- ⑤ 幕府をしっかりと安定させた3代将軍の名前をいいます。 ()
- ⑥ 江戸時代につくられた、武士が守るべき決まりを何といいますか。 ()
- ⑦ 大名が1年おきに江戸に住む決まりを何といいますか。 ()
- ⑧ 1637年、九州に起きた一揆の名前と中心人物をいいます。 () (一般の名前) (中心人物)
- ⑨ 幕府は日本人が海外に出かけたり、外国の人が日本に来ることを禁止しましたが、このことを何といいますか。 ()
- ⑩ 幕府が⑨のようにした理由を2ついいます。 () ()
- ⑪ 幕府は例外として2つの国と九州のある場所のみ、貿易を行いました。その2つの国名と貿易を行った町の名前を答えなさい。 () () (町)

江戸時代の庶民と文化



◆**江戸と大阪** 江戸時代は長い間大きな戦いがなかったため、いろいろな産業が発達しました。江戸は将軍のおひざもとと呼ばれ、人口は約100万人、当時の世界最大都市となりました。一方、大阪は商業の中心地として、全国から特産物が集まり、天下の台所と呼ばれました。そして、商人の中には豊かな人が出てきました。

◆**江戸の改革** しかし、幕府の出費はどんどん増えていき、8代将軍徳川吉宗のとき、大きな改革が行われました。吉宗は、武芸や学問をすすめ、ぜいたくをいじめました。そして、産業が盛んになるように努力しました。

幕府が信頼されるよう、大岡忠相を町奉行にして法律を整えたり、目安箱という投書箱を置き、人々の意見に耳をかたむけました。また、もの値段が安定するように努力しました。これらを享保の改革といいます。のちに、松平定信が行った寛政の改革や水野忠邦が行った天保の改革は、これに習ったものでした。

◆**江戸時代の文化** 幕府が学問をすすめたため、江戸時代には様々な学問が開かれました。日本の古い文学や歴史を研究する国学の本居宣長は、『古事記』を研究し、『古事記伝』を書きました。国学は、のちに天皇を尊ぶ尊王論に大きな影響を与えました。

また、徳川吉宗がキリスト教に関係ない西洋の本の輸入を認めたため、西洋の文化を学ぶ蘭学が起りました。杉田玄白は医学書を日本語に訳した『解体新書』を書きました。早稲源内は電気を起こすエレキテルをつくりました。伊能忠敬は、日本中を歩き正確な日本地図を作りました。このような動きのなかで、人々の間に世界の文化を取り入れようという考え方が生まれてきました。

庶民の文化もはなやかに became. 井原西鶴は浮世草子という小説で、近松門左衛門は歌舞伎や浄瑠璃という演劇で人々の生活をえがきました。また俳句が松尾芭蕉によって確立され、『奥の細道』を書きました。浮世絵という絵画では、安藤広重が『東海道五十三次』を、また葛飾北斎が『富嶽三十六景』をえがきました。

名前 ()

江戸時代の庶民と文化



- ① 江戸時代、江戸と大阪の2つの都市は、それぞれ何と呼ばれていましたか。 (江戸) (大阪)
- ② 8代将軍、徳川吉宗が行った改革を何といいますか。 ()
- ③ 徳川吉宗が庶民の考えを聞くために置いた投書箱を何といいますか。 ()
- ④ 松平定信が行った改革の名前と、水野忠邦が行った改革の名前を何といいますか。 (松平定信) (水野忠邦)
- ⑤ 日本の古い文学や伝統について研究する学問を、何学といいますか。また、西洋の学問について研究する学問を何学といいますか。 (日本の古い文学や伝統) (西洋の学問)
- ⑥ 本居宣長が研究したのはどんなことですか。また、それを何という書物にまとめましたか。 () ()
- ⑦ 杉田玄白がほん訳してきた本の名前を何といいますか。 ()
- ⑧ エレキテルをつくった人はだれですか。また日本中を歩き、正確な地図をつくったのはだれですか。 (エレキテル) (地図)
- ⑨ 浮世草子の作者として庶民の生活をえがいた作家はだれですか。 ()
- ⑩ 安藤広重や葛飾北斎がえがいた絵を何といいますか。 ()
- ⑪ 歌舞伎や浄瑠璃の作者として、日常の人々の生活をえがいたのはだれですか。 ()
- ⑫ 俳句の創始者として『奥の細道』を書いた俳人はだれですか。 ()